

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 防災体制の強化について (30分)</p> <p>今年、死者・行方不明者約10万5千人の甚大な被害をもたらした関東大震災から100年の節目の年です。各地の災害発生状況をみると、これまでには考えられなかった地震や気象災害が発生しており、いつ何時、鶴ヶ島市においても大規模な災害に見舞われるかわかりません。本市が経験した記憶に新しい災害は、令和元年台風第19号がもたらした大雨・強風で、多数の避難者が発生した一方、情報が錯さうしました。これらを踏まえ、市では「防災ハザードマップ」を作成・周知するなどの様々な災害対策を進めていますが、更なる取組が必要と考え、以下伺うものです。</p> <p>(1) 災害発生時における市の対応は。 (2) 情報の発信は。 (3) 備蓄体制は。 (4) 地域との連携は。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p>2 言語通級指導教室に通う子どもをもつ家庭に支援を (10分)</p> <p>鶴ヶ島市では、言葉の発達が気になりな子どもが通う教室「ことばの教室」を第一小学校に開設し、子ども一人ひとりに合わせた指導を行い、言葉やコミュニケーションの発達を促しています。一方、「ことばの教室」は第一小学校にしかなく、校区外に住むご家庭には保護者の付き添いを必要とし、負担となっています。そこで、以下について伺います。</p> <p>(1) 言語通級教室の現状は。 (2) 通級教室に通う子どもをもつ家庭に支援を。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p>3 子ども達の「確かな学力」を育むために (20分)</p> <p>現在、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は急速に変化しており、予測が困難な時代となっています。この様な社会情勢に対応するため、学習指導要領では児童・生徒の「生きる力」を育むことを基本理念に掲げおり、以</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>下のような願いが込められています。</p> <p>『学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。</p> <p>これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。</p> <p>そして、明るい未来を、共に創っていきたい。』(文部科学省HPより)</p> <p>この「生きる力」の構成要素の一つ、「確かな学力」について以下、伺います。</p> <p>(1) 「確かな学力」とは。特に、狭義の学力との違いは。</p> <p>(2) 「確かな学力」を身に着けさせるための取組は。</p> <p>(3) 課題は。</p>	